

令和5年度 第4回 四街道市教育振興基本計画策定委員会会議録

開催日時 令和5年11月21日(火) 10:00~11:40
場 所 市役所第二庁舎 第2会議室
出席委員 江崎会長、小宮山副会長、上田委員、福田委員、能村委員、鈴木委員、後藤委員、
神田委員、中島委員、千脇委員、米家委員
欠席委員 山岸委員、花井委員
事務局 教育部：府川教育長、石川部長
教育総務課：久保木課長、小安係長、久保主事
学務課：飯村課長
指導課：伊藤課長
社会教育課：荒木課長
スポーツ青少年課：仲田課長
青少年育成センター：米村所長
傍聴人 1名

会議次第

1. 開会
2. 教育長挨拶
3. 会長挨拶
4. 議題
(1) 第2期四街道市教育振興基本計画(案)について
5. 答申
6. その他
7. 閉会

議 事

議題(1) 第2期四街道市教育振興基本計画(案)について

教育総務課 (資料1、2を説明)

江崎議長 文言の修正以外では、重点事業について主な取組の文言の隣に「重点」と表記されている。また、表紙のサブタイトルは、事務局で検討した結果「高めよう！「よつかいどう」の力」となっている。

質問や意見等はあるか。

千脇委員 前回の会議で不登校に関わる市民の方の声を紹介したが、今回の案に反映されていて、市民の声が届いたと感じた。

米家委員 今回修正の箇所ではないが、理念にある「輝きあう」について、自動詞の「輝く」に「あう」という言葉がついていることに違和感があり、抵抗を感じる人がいるかもしれない。そのような人に説明ができるようにしておいてほしい。

千脇委員 主な取組に記載されている「重点」の説明を記載してほしい。

教育総務課 パブリックコメントを実施したのち、結果を反映する段階で、この件について記載する。

上田委員 資料1、11ページの全国学力学習状況調査の結果や33ページの達成状況について、○×表記に変わり、分かりやすくなったと感じた。55ページの成果指標で『四街道を「ふるさと」と感じている』という項目について、小学生と中学生が対象になっているが、これは市民全体に聞いてみてもいいのではないかと感じた。

教育総務課 今の件について、事務局でも同様に認識している。今後アンケートを取る際は、市民の方に対しても「ふるさと」意識についての設問を設けたいと考えている。

能村委員 成果指標で、『教職員として「やりがい」を感じる』としているが、27ページに記載されている「生きがい」という言葉を「やりがい」に合わせた方が分かりやすいのではないかと。

米家委員 アンケート調査の際に、この言葉で聞いたから、アンケート調査結果としては、原文のまま記載し、これからの基本計画で成果指標としていくものとしては、「やりがい」という言葉を使用するという事かと思う。

小宮山副会長 成果指標の『教職員として「やりがい」を感じる』の欄に、注釈として「令和4年度のアンケートでは、「生きがい」として質問した」とわかる文言を記載したら良いのではないかと。

教育総務課 注釈を入れることとする。パブリックコメントで頂く意見を反映させる際に併せて修正する。

小宮山副会長 全国・学力学習状況調査について、国や県と比較して低い傾向にあるがこれらの結果をどのように分析しているか。

指導課 算数や数学の結果が芳しくないということについては、個人差が開いてしまっていることが理由の一つにあると感じる。その差を埋めることに学校も苦慮しているところがある。今後、タブレットを活用するなど、個々の子どもたちに応じた指導・支援ができるように指導課では学校への指導・助言に努めていきたいと考えている。

江崎議長 現場の先生方からはあるか。

能村委員 一つとして、外国籍の子どもが多くいるということがある。問題文の字が読めないような子どもたちも皆一律にこの試験を受けており、白紙の回答も一律に提出している。日本語が分からない子どもたちが増加しているので、平均では点数が低くなってしまっているということがある。

米家委員 今、外国人の四街道市民が3,000人を超え、そのうちの1,000人超がアフガニスタン人という状況にある。大日小学校在籍の70人～80人の児童が、アフガニスタン人を含む外国籍の児童と伺っている。和良比小学校でも外国籍の児童がとて増えてきており、いずれ大日小学校のようになると予想されている。市内の小中学校に通っている外国籍の子どもたちは、現在何名いるのか伺う。

学務課長 令和5年3月末時点で小中合算して314人となっている。日本人生徒も含めた全体の数は、7,800人前後である。

教育部長
米家委員

その中で、アフガニスタンの子どもたちは6割を超えている。
アフガニスタン人の子どもたちを見ていて感じることにして、やる気がある子どもは本当にやる気があり、家庭学習を一生懸命やり、休みの日も勉強をしたいというお子さんもいる。日本語ができない分、算数を頑張ると言っている子どももいる。日本語力のアップが数学の力も押し上げるのではないかと思う。教育をする立場として、子どもたちの日本語力を高めるようなことができればいいと感じている。

江崎議長
教育総務課

他にはあるか。
(資料3を説明)

江崎議長

質問や意見等はあるか。
(意見なし)

江崎議長

これを答申としてよろしいか。
(異議なし)

江崎議長

そのように決定し、議題を終了する。